

第5回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会 会議録

- 1 会議名 第5回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会
- 2 日時 平成21年(2009年)11月6日(金) 午前10時～11時
- 3 場所 箕面市役所 本館3階 委員会室
- 4 出席者
 - (1) 委員
伊藤委員、大倉委員、山口委員、義永委員、遠藤委員、中井委員、
稲垣委員、安井委員、陳委員、八木委員、吉田委員、安達委員
 - (2) 箕面市
埋橋上下水道企業管理者、島谷局長、市村お客様サービス課長、
樋口浄水課長、佐多下水道課長、和田水道工務課課長補佐
 - (事務局)
友國総務課課長補佐、齋藤総務課担当主査、川崎総務課主査
- 5 傍聴人の数
1人
- 6 議事
 - ① 審議案件
 - (1) 桜ヶ丘浄水場の今後のあり方について(答申)

【会議要旨】

会 長 前回までの審議会では、これまでの審議会のまとめと、答申の骨子について審議していただき、同意をいただいたので本日は答申書の内容について審議をしていただきます。事務局説明をお願いします。

箕面市 答申案の内容を朗読により説明。

会 長 質問等がありますか。

会 長 意見がありますか。

委 員 答申内容をいじる意見ではなくて、南海地震の発生の確率が高いのでバックアップ機能を早めに計画的に、個人的には出来れば次の5年目の見通しまでに補強を終えて欲しいことが1点目、次に公営企業の財政のしくみで、桜ヶ丘浄水場を廃止したときに、除却の費用がすごく高くなる。今のシステムでは除却費用をならして、計上することが出来ないために、一気に赤字に陥ると思います。実際は見かけ上の赤字なので、改良費用を突っ込み過ぎると議会に言いにくくなるので、決断が鈍ってしまい、廃止したくても廃止出来なくなるので、こうした会計上の構造をふまえたうえで決断してもらって行く必要があります。

会 長 バックアップ機能と除却費用の意見について事務局から何か。

箕面市 ご要望の点について、バックアップ機能は桜ヶ丘浄水場を維持継続していく前提に立った時に、その桜ヶ丘浄水場が非常に老朽化しているので、何時停止するかも分からないという状況にあります。加えて地震の件は、地震に対する耐震化の補強は重要であると思っています。来年で阪神淡路の震災から15年が経つので、改めて見直す必要があると考えています。2点目の除却費用ですが、施設の除却と撤去費用を含めると1億～2億必要かもしれませんので、今後の経営に関わることなので時期を見て判断をしていくように考えていきたいと思っています。

会 長 耐震化については、この地区だけではなく全市的な今後の大きな課題と思います。また5年後に至るまでの間、常時様子を見ながら対応するという事、この答申の中に含まれていることと思います。
他に意見等ありますか。

委 員 除却する時に2億円程必要ですが、どのように捻出されますか。今からでも積み立てをされているのか。

箕面市 会計の仕組み上のことで、現金が出ていく訳ではありません。

委 員 現金にかかる費用分はどうするのか。

箕面市 除却費用と施設の撤去費用とがあり、除却費用は現金の支出は伴わない。撤去費用は5千万円程度の費用が伴うと思います。

委 員 撤去費用の5千万円程度の資金の用意は今から積み立てているのか。

箕面市 建設改良費用ではないので、3年か1年になるか分かりませんが、単年度支出となります。積み立てることはできません。内部留保金を貯める等はできます。

会 長 撤去費用を借りることはできますか。

箕面市 出来ないと思います。

委 員 現在の法律では出来ないかもしれないですが、会計学上「引当金」という制度があり、現在発生している理由で将来支出が必ず見込まれている場合、支出分を今から蓄えていくという考え方がありますので、またご検討お願いします。

会 長 5年後に大阪府営水道がどうなっているか、水道料金がどうなっているかということがあるので、5年後に撤去することを前提にして貯めていくことが出来るかどうか、また議論が必要になってくるかと思います。様子を見ながら検討していくということで、答申の段階ではそこまで踏み込まなくてよいと思います。
もう一度この答申について何か意見ありますか。

委 員 浄水コストと浄水処理コストに違いがありますか？

箕面市 違いはありません。

会 長 コストと費用の言葉について、どちらでも良いのでしょうか。

箕面市 馴染みやすい言葉で使わせてもらっています。

委 員 一般的には費用もコストも使われますので良いです。
答申の内容とは関係ないですが質問です。浄水処理のコストは1㎡58円、送水の費用は別途また掛かっていますか。原価はいくらくらいですか。

箕面市 給水原価という言い方ですが、平成20年度では192円63銭、送水、人件費、施設の減価償却費、借入金の償還金といったものに掛かっています。

委 員 府営水道の場合88円ですが、これに送水の費用が別途掛かりますか。

委 員 受水する所の費用なので、市町村の受水地点の値段です。府営水は市町村よりパイプが少ないので、箕面市より送水する費用は少ないです。

委 員 総トータルしたら府営水の方が安い訳ですか。

委 員 府営水は市町村までなので、そこから市町村で網目のようにパイプを走らせるので市町村は多く費用が掛かります。

会 長 箕面市の地形的な要因もあります。

委 員 パイプは要るので、浄水場よりパイプを走らせる方がコストは掛かるのは、ごく自然です。府営水のパイプは市町村へ1～2本のみで、網目状のパイプが要らないので、浄水場のコストの方が高なります。

委 員 答申のおわりに、経営改善の取り組みをよりいっそう加速とありますが、今からでも考えておかないといけないのでは。取り組みの方法は何かありますか。

会 長 経営ビジョンで色々議論していて、さらに具体的にこれから議論していくということです。

箕面市 色々な項目がありますが、今までに特に取り組んできたのが、人件費で、平成20年度と21年度この比較だけでも、人件費だけで3千万円程削減をしています。これが大きな取り組みの一つです。それと、今まで職員が直接行っていたことを民間の技術やノウハウを使って委託する方が、直接職員でするより安全で安く出来る項目は、委託化を進めています。水道は皆さん方に使っていただくのに安全が第一にありますが、そういった観点を踏まえて、今後も人件費や処理経費を安くしていく必要があると思っています。現状では水道水を使っている量が減ってきている傾向なので、総収入が減ってくるので、それに併せて支出を減らさないといけませんので、今後ももっと業務の見直しをしていこうと思っています。

委 員 水道をもっと使ってもらった方がよいのですか。

箕面市 出来るだけ多く使ってもらった方が資産の利用効率が良くなりますので、そういう意味では使っていただいた方が良いのですが、現実には節水機能の機器や少子化、経済状況など色々な要因で水量が減ってきているのが現状です。今後は出来るだけ資産を延命させていくことに力点を置くと、経

営ビジョンにも盛り込まれています。今回、桜ヶ丘浄水場について耐用年数を超えてでも使っていこうと、それは府営水道との関係もありますが、その中で老朽化した施設をどれだけ延命していくかに力点を置いていくモデルケースにもなるかと思います。今後、資産をどのようにして延命化を図るかについても経営ビジョンの中で検証を審議会でいただくことになっていますのでよろしくお願いします。

委員 少子化、人口減少で水道使用量がもっと減ってくるので、堂々と使用してくださいと言って、使用しやすくコストを安くする考えもあります。

箕面市 水需要の下がっていく原因が、箕面市では生活用水が84%で工場とか商店で使われる量は比較的少ない状況で、その中で比較的落ち込みが大きいのは生活用水です。だから使ってくださいと言うのではなくて、減っていくにはそれなりの理由があります。水洗トイレの流す量が少なくなって、洗濯機の使用水量が少なくなって、コンビニでは完成品があるので、家の台所で水道を使う量が減って、加えて今日の経済情勢なので、いっそう節約節水思考が高まってきている。これを使いなさいといっても無理だと思います。したがって、水需要が減った中で、どのようにして収支のバランスをとって、安全で安心の水をお届けするかには今後は注力をしていこうと思っています。

会長 今年府営水道も水需要の見直しをして、大幅に下げています。

委員 最近家庭でもボトル水を買っていますが、それを水道水にしたらもう少し違うのでは。

会長 ボトル水と水道水と比べて美味しさは同じですよ、というくらいは言っても良いかと思いますが、個人の嗜好の問題です。

委員 今までは水が要るからと、どんどん施設を造る方にやってきたのが、今は経済状態が悪いので今は管理していく方向でやっていっています。パイプが重要でコストが掛かるというのが、委員になって初めて分かりました。箕面市は下水道の整備が大阪府下で一番か二番でした。それから年月が経って管が古くなってきています。配水管の取り替えの今後のあり方はどう考えていますか。

箕面市 費用の関係で、管路とかの減価償却費が費用の内の16%です。平成20年度では4億3千万円程です。例えば30年前に1千万円で工事ができて

いたのが、今では2千万も3千万掛かります。その理由は人件費、材料費が上がったとかその他の要因で費用が上がっていく。将来も上がっていく分は減価償却費も上がっていく。今後新しい施設は造らないとしても、今ある施設の更新はしないといけないので、後へずらしていく方法で取り組んでいきます。

委 員 如何に施設や設備を延命化していくかについて、施策を考えていっていますが、バックアップ機能を作っていく上で、市内全てのバックアップ機能についてはどうですか。

箕面市 答申案のバックアップ機能は新稲高区の配水池のバックアップ機能です。現在は、中央部に箕面浄水場があり、東部はある程度バックアップは可能ですが、西は出来ません。ただ、バックアップ機能は半日程度ですので今後の課題です。

委 員 郊外の大型開発に新しい管を入れるのは方向性が逆行しているのでは。今の町の中での整備が大事で、郊外の整備は必要ないのでは。

箕面市 郊外の大型開発は、先に水道を入れたから開発しなさいというのではなくて、逆に水道の場合は、インフラとして整備しなければいけない義務のようなものです。水道の方から街づくりに口出しできる法律ではありません。費用は開発者負担で、後に箕面市に引き渡すことになっています。

委 員 広域化の問題についてはどうなっていますか。

委 員 南河内の方では人も少なく技術者も居ないので広域化をしている。府下全域としてはまだまだです。水道だけ広域化をすればいいのか、とか意見もありますし、もう少し時間が掛かります。

箕面市 広域化には2つの側面があります。1つは経営を統合していく。もう1つは水の供給の問題です。これは府営水道が広域化の役割を果たしていると考えられます。

会 長 桜ヶ丘浄水場の更新に関連する話として、建設から維持管理、アセットマネジメントという手法で、法定年数を超えても出来るだけ長く使っていく方法、さらに広域化の問題とか水道を巡るいろんな問題があり、議論したらきりがないので、今日の議題であります答申書については、特に修正のご意見も無いようなので、この内容で答申をしたいと思います。答申

書については、後ほど市長宛に提出いたしますが、異議ありませんか。

委 員 (一同異議なし。)

会 長 これにて本日の議事は終了したいと思います。何か事務局から何かありますか。

事務局 次の審議会につきましては、1月下旬から2月に、箕面市上下水道事業経営ビジョンの検証及び次年度以降の事業について、を議題として開催予定しておりますので、改めて通知いたします。